

平成27年度 磐田市少年補導センター運営協議会 会議記録

日時	: 平成27年7月17日(金) 午前10時00分~午前11時40分
場所	: 磐田市役所 西庁舎 3階 303会議室
出席者	: 鈴木隆之、都築安夫、松島了二、市川和幸、稲葉一美 山内鉄男、大石昌利、沼野伸一、松井文孝、伊藤一司 事務局 磐田市 村松教育長 少年補導センター 名倉所長(市民活動推進課長)、牧野部付主査 三浦主査、柿澤副主任、吉武副主任、後藤主事

1. 開会

2. 委嘱状及び辞令書交付

10名(新任委員6名)

3. 教育長あいさつ

皆様こんにちは。本日は、磐田市少年補導センター運営協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。ただいま、新任の方が6名ということで、大変忙しい中ですが、よろしくお願い申し上げます。

日頃は、磐田市の青少年育成につきましてそれぞれのお立場でご尽力いただきまして深く感謝申し上げます。5月21日には少年補導員の委嘱状及び研修会を行いました。早いもので7月は県内一斉補導及び立入調査を行う時期となりました。いよいよ夏休みに向かっていくわけですが、子どもたちは開放感の中で、事件事故に巻き込まれることが心配されています。

皆さんご存知の通り、川崎市の事件がございました。岩手県の自殺の件もありました。直接その場に居たわけではないので、私自身が計り知れないこともあります。大切なことは何なのかともう一度振り返ってみることが必要です。私どもに出来ることは何があるのか。もう一度その辺を心して考えなくてはいけないと思います。その中で必要なことは、声掛けと見守り。それぞれ地区ごとに実情は違うと思いますが、まずは出来ること、それは声掛けと見守りです。見守りは「見守り隊」の方々が小学校に子どもたちが出かけて行く時に一声掛ける。「気を付けて行ってらっしゃいよ」と声を掛けていただく。そういうことが大切であり大きいことであると思う。それと、私自身夜歩いていて、いろんな人がすれ違うわけなんです。その時に声を掛ける雰囲気がある地域かどうか大きなポイントになるのでは。夜すれ違ってあの人近所の人だなと判っても声を掛けない。そういうものが、声掛けによって「見ているんだよ」という雰囲気が醸成されていかないと難しいのではないかなと思う。各地区ごと状況は違うと思いますが、やはり声掛けと見守りで命を守る雰囲気を醸成していかないといけない。私も3月まで中学校の校長をやっておりまして、その中でやはり問題行動を抱えたお宅というのは、お父さんやお母さんとの繋がりが無くなってきている。問題を起こした時に親を呼んで指導をすれば、解決するかというところ解決しない。どういうことかというところを声掛けと見守りで、地域の方と人間的な繋がりを作ることによってその子にとって重要な他者。つまり本当に大切な他人です。そういう形になってきていただくとありがたい。なかなかそこまで行くというのは地域社会の中では難しいと思いますが、磐田市だったら、その突破口は開けるのではないかと思います。

豊明会の活動を見せていただく中で、地域の方がテ - ブルマナ - に連れて行くという活動がありま

した。今どき地域の方が人の子をテ - ブルマナ - に連れて行くところはない。だけどそれをやって報告書にそれが挙がってくる。そういう事実があるということが、重要な他者を作る要因になっている。それは、数が多い少ないではない。大切な人が、地域の中にいる。地域の中に中心になる方がいらっしゃるといのは、補導活動の根本で重要なポイントである。ぜひとも、少年補導センターの活動が円滑に行われることと市内それぞれの地域で人間的なつながり、または重要な、大切な方々がより一層活躍できる雰囲気を作ることが大切です。それをお願いしまして挨拶としたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 自己紹介及び会長、副会長選出

自己紹介の中から（特記事項のみ記載）

- ・地域の中で声掛けをしている。今後もしていきたい。
- ・地域の青少年声掛け運動に参加しているので一貫して声掛けをしている。
- ・いわたホットライン不審者情報等入ると注意することが出来る。大変役に立つものである。
- ・時代と共に子どもたちが変わってきているが、子どもたちに声を掛けてみると返ってくるものがあり理解できる。声を掛けて良かったと思う。皆で協力して声掛けをすることは、良いことである。
- ・子どもたちへの指導を厳しくしているので御協力をお願いしたい。
- ・学校は、地域の方の応援ありがたい。地域に支えられての学校である。
- ・いろいろな場で子どもたちの様子を見るのが大切である。

磐田市少年補導センター運営協議会 会長 市川 和幸 委員 選出

磐田市少年補導センター運営協議会 副会長 沼野 伸一 委員 選出

5. 会長あいさつ

長い間、補導員をしています。出来るだけ皆様のお力をお借りして進行していきたい。また、青少年についてはいろいろな問題（スマホや夏休みにかけて）がありますが、根っから悪い子はいないと思う。環境によってだいぶ変わってくると思います。学校で登校拒否の子に話をしてみるとやはり家庭環境もあるのではないかと。家庭環境についてもただ親に話をしたから、良くなるよという訳ではなく根元から携わっていかないとということがあるようなので、今後皆様のご意見を伺いながら、運営協議会を進めていきたいと思ひます。また、皆さんも地区のリーダー的な存在ということで、運営協議会の中でいろいろな情報交換もいただけるし地区に戻りましてこういう考えを発表できることは良いことだと思ひます。それを重視してやっていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

6. 議題

(1) 少年補導センターの業務等について

事務局から、少年補導センターの業務についてご説明させていただきます。

初めに磐田市少年補導センター要綱です。(業務)第3条には少年補導センターの業務は

少年に関する相談の受理及び措置に関すること。

街頭補導活動に関すること。

情報及び資料の収集に関すること。

青少年関係機関及び団体等との連絡調整に関すること。

その他少年の非行防止及び健全育成に関すること。

以上の5点となっています。

具体的な事業計画及び活動内容について説明させていただきます

「平成 27 年度磐田市少年補導センター事業計画」です。

5 月 21 日には少年補導員の委嘱式と研修会を開催しましたが、補導員総数 128 人のうち、116 名の方にご参加をいただきました。

なお、本年度の 128 人の補導員の構成ですが、自治会側から推薦された方が 90 人、小学校、中学校、高等学校の各学校長から推薦された先生方は 38 人、といった内訳になります。

また、128 人のうち、前年度から継続して努めていただいている方が 50 人、新任の方が 78 人という状況です。

次に、今後の事業計画ですが、7 月には一斉夏季補導が組まれています。これは毎年行っているもので、一部の地域を除き 24 日に実施します。ご協力お願いいたします。

また、同じく 7 月には、書店、コンビニ、ビデオ・DVD 取扱店等に対する立入調査も併せて行います。

また、8 月～10 月にかけての各地区祭典補導、12 月の一斉冬季補導、3 月の卒業式警戒といったものが主なものです。

以上が、平成 27 年度磐田市少年補導センターの事業計画となります。

続きまして、平成 27 年 4 月から 6 月までの活動状況ですが、例年 7 月から本格的な補導活動に入ることとなりますので、この期間は各数値は少なめとなりますが、資料のとおり実施しております。

活動内容の中で、特別補導とありますが、これは市に青パト装備車両がありますので、その車両を使つての職員がパトロールを実施したものです。

次の有害図書類の回収ですが、これは磐田市文化振興センターの玄関口に設置されている有害図書類の回収ボックス白ポストから回収したもので、4～6 月の間ここから雑誌 4 冊や DVD 4 点を回収しました。なお、白ポストは旧磐田市内交流センター - 7 ヶ所にも設置されています。

次の会議、研修会等ですが、静岡県青少年補導センター - 連絡協議会や御前崎市以西の 8 市町の補導センターの職員による情報交換（静岡県青少年補導センター - 連絡協議会西部ブロック会議）も行っておりますが、当面予定しているものとしては、8 月の夜間に、浜松市内で浜松市の補導員さんと合同補導研修会がありますので、これに出席する予定です。また、11 月に開催される、西部ブロックの研修会では講演会が開催されます。こちらにつきましては、会の最後に委員の皆様にご案内したいと思います。

次に 3 の夏休み対策ですが、7 月は「青少年の非行・被害防止強化月間」として、各家庭に次のページにありますチラシを回覧させていただきました。ご覧いただけましたでしょうか。

また、先程申し上げました、夏季一斉補導、立入調査を予定しています。立入調査につきましては、目的...青少年の非行を未然に防止すること、地域の実態に即した環境整備に努めることです。市内対象店舗：書店、コンビニ、ビデオ・DVD 等取扱店等の他、スマホ利用に関し問題が多発していますので、携帯電話インタ - ネット接続提供事業者にも訪問します。本年度は、県の関係機関（西部健康福祉センター - ・市内公立高校）の職員も磐田市少年補導センター - 職員と一緒に立入調査を行い、健全な環境整備に努めます。約 60 店ほどを予定しています。

また、8 月 22 日(土)には、センター - 職員により夏季特別深夜補導を計画しています。

深夜 21：30～23：30 いわた夏祭り花火大会終了後市内全域を回る予定です。

次に、「磐田市における不審者事案発生状況」をご覧いただきたいと思います。ここに掲げられていますように、本年1月から6月30日までの約半年間で32件の発生がありました。昨年と同じ時期に10件でしたので、本年度は多くなっています。注意していきたいです。地区別では磐田地区が18件、福田4件、竜洋3件、豊田5件、豊岡2件でした。また、行為別では、声かけが9件、つきまといが11件、わいせつ行為が3件、写真撮影3名、連れ去り1件、脅迫・暴行1件、その他4件です。いずれも主に小学生や女子生徒など、力の無い者・弱い者を対象としたものであります。

このような行為は、一歩間違えれば凶悪犯罪に発展しかねない大変危険な行為だと言えます。これから夏本番を迎え特に注意が必要だと思っております。

次に、磐田警察署管内の犯罪少年・不良行為少年状況表ですが、これは磐田警察署から資料提供を受けたものとなります。5月21日に行いました、少年補導員委嘱式・研修会の資料でもお付けしたものです。

磐田警察署が事件として取り扱った数字、あるいは補導した数字にすぎないものと言えます。そういったことで、この数字に表れない案件もかなり存在するものと思われます。

補導センターとしましては、こうした不審者情報や、犯罪・不良行為に関する情報を絶えず注視し、今後の補導活動に活かしていきたいと考えております。

以上、「少年補導センターの業務」について、事務局から説明させていただきました。

(2) 最近の青少年の動向について及び(3) 情報交換 (要旨のみ記載)

(委員からの発言要旨)

- ・少年検挙の概数について減っている。大人の犯罪なども減っているが、オレオレ詐欺など発生していても報告しない場合も多く昨年並みである。警察が地域で青少年に声を掛け親御さんにまで連絡する数は、おおよそ900件(延べ)程度。なるべく親御さんに連絡するようにしている。
- ・1年を通して悪いことをしている子がいるが、親御さんに言ってもなかなか立ち直れない。家庭的に寂しい子が集まって悪いことをしてしまう。出会い系サイトを通して、悪い大人に捕まって非行に走ってしまう子もいる。皆に共通していることは、行くところがない、寂しいなという傾向がある。
- ・子どもたちが立ち直るために、地域の方々をお願いしたいこととしては、地域の子供たちは地域の宝です。地元を背負って立つ大人になり結婚もする。不良行為をして警察で教育機関に送ったとしても必ず帰ってくる。地域の皆さんは、彼らの居場所を作ってあげて欲しい。警察は厳しくやらせてもらうので、地域の皆様は受け入れて優しく声を掛けていただき立ち直りを支援して欲しい。
- ・しばらく前の話。不良行為を繰り返す子どもがいたが、スポ・ツを始めたことで立ち直りすっかり更生したという事例がある。若いうちは情熱や体力を発散する場を求めている。子どもたちはみんな生きがいややりがいを感じられれば更生できる可能性がある。皆さんで見守り手助けしていただきたい。

・少年警察ボランティアについて。

少年指導委員	6名	県公安委員会から委嘱	2年任期	少年非行を防止 風俗営業に立ち入る権限あり 有害な風俗環境から守る
少年警察協助手員	25名	県警察本部長から委嘱	2年任期	少年非行を防止 少年の指導育成

活動的には、地区の見回りや学校の見回りなどを行い補導センタ - 補導員と変わらない。

- ・祭りの時、意識して中学生に声を掛けている。自治会では子どもたちの参加を 21 時までとしているが「21 時まで」と言う子と「学校は 22 時までいいと言ったよ」という子がいて中学校によって異なっていた。どうなっているか？ できれば統一して 21 時までとなると良い。

↓

どの地区も祭典前に実行委員会が開かれると思う。そこに学校関係者や警察も参加し、時間なども確認するのではないか。その中でその地区ごとに、参加時間が決められている。PTA 連絡協議会の方でも祭典についてはそれぞれの祭典の責任者の指示に従って健全な参加が出来るようにと保護者に文書を出している。たまたま学校によって異なっていたのは、祭典参加は祭典責任者の指示に従い 21 時まで参加、帰宅は 22 時までとなっていた学校があったのかもしれない。

- ・今後、補導員として町の中全体を意識して見ていきたい。小学生等が帰ってくる間に、声を掛けられるという情報が何件かある。未然に防ぐということで、取締りは出来ないか？不審者情報が入ったところで警察の方から指導してもらえると良い。

↓

実際に検挙されていることもある。不審者情報は、リアルタイムではないことが多い。「昨日こういうことがありました」というようなことが多い。現場からすぐに「こういうことがありました」ということがあまりない。警察の動きが遅くなってしまう。なるべく早く連絡が入ると警察も警戒できる。これは、犯罪だなということがあれば、すぐに通報して欲しい。すぐ対応できる。

- ・コンビニで少年に声を掛けてみた。深夜徘徊について話をしてみたことがある。
- ・高校生は活動範囲が広がってくる。通学地区も広い。学校によって違うと思うが、全般的に粗暴犯のような生徒が減り、心を病んでしまう子が増えてきた。発達障害もある。学校の秩序を正すために、厳しい指導はしているが、理解する指導とか支える指導も同時にしていくことが大切。
- ・中学校に関しては、問題行動は少なくなってきた。ただ、不登校の生徒の数が増加していて気になる。小学校から中学校への中 1 ギャップではなく、1 年から 2 年にかけての不登校の増加が顕著である。問題行動については、同じ子が繰り返すケースが多くなっている。中学生の規範意識という点で危惧されることも多くある。また、子どもたちの繋がりという点で、塾でも広域的に繋がりが交友関係も広がる。塾の中での様子もよく見ていただきたい。
- ・小学校の傾向として、何かあった時ク - ルダウンするのに時間がかかる子が増えた。ライン関係も問題が起きてきている。友人関係のトラブル。スマホというよりもゲ - ム機を通して友達同士のトラブルが起きることもある。
- ・市全体では、小学生の粗暴行為や家のお金を持ち出すなどの問題行動が増えてきた。中学生については女子の問題行動が増えてきていることが特徴である。ネットパトロールを業者に依頼しているが、危険なことがあると報告が来る。中学生になると勉強が難しくなったり、家庭との関係がうまくいかなくなったり等様々な悩みをもつ生徒が出てくる。スク - ルソ - シャルワ - カ - と連携して対応している。

- ・九州の方で警察と少年補導員で協定書を結んだ。内容は、オレオレ詐欺の啓発について協定書を結び行うというもの。磐田の警察署は、どうか？

↓

少年警察協助手や地域安全推進員などのボランティアの方々がいるが、協定書を結ばなくても一緒にオレオレ詐欺も含めていろいろなものを広報している。

- ・学校の先生や警察の方々は、昔と比べると仕事の荷重が多いのではないかと。ラクビ - ジュピロ磐田の清宮監督さんが発言した地域スポ - ツクラブは、いいのではないかと。地域と学校と企業で熟成していけば、「行くところがない」という子も減るのでは。スポ - ツで汗を流すというのが健全ではないかと。

↓

少年サポ - トセンタ - があるが、農業体験をしてみたり親御さんも呼んで一緒に料理をしてみたりして、子どもたちの支援をしている。磐田警察署ではないが、警察署の道場を開放して、柔道や剣道を一緒にしたり柔剣道大会を開催したりしている所もある。

会長より

- ・各地区には青少年健全育成連合会各支部があります。活動をご理解いただけるようお話しをしていただくと良いのでは。県下一斉補導もあるので、連携していただけたらと思う。スマホル - ルも把握し地区に広めて欲しい。

(4) その他

事務連絡

- ・静岡県青少年補導センタ - 連絡協議会西部ブロックで、11月18日(水)に講演会が計画されている。講師は、教育・心理カウンセラ - の荻野ゆう子氏。
聞いてみたいと思われる委員さんはぜひご参加いただきたい。自由参加。
正式な案内文章が届き次第、委員の皆様にもご案内する。
- ・委員報酬について。
- ・有意義な情報があったと思います。それぞれの立場で振り返っていただきたい。磐田市の動向について気になるところもあろうかと思えます。手を入れて変えていったりすることもある。情報がありましたらお知らせしていきたい。補導活動は、声掛けが大切であるが、それを補導員も健全育成も見守り活動、防犯もしている場面がある。全地区で同じ状況でやっているかという点はまだまだそうではない所もある。整理をしながら統一をしたり連携を取ったりしていくことは大切である。

7. 閉会